

つた佐伯小學校は最初の訓導である。この頃から漸次従来の変則科を廢して、新しく制定された小學校則並に教則による編成格をを行い、新しい形式の授業を初めたのである。そして青小屋式であつた机、文庫の携帶は廢止されて、不完全ながら黒板が設けられ、所謂テーブル式の机も備えられた。

學校訓導以來、入學する者の大部分は男子に限られていた状態であつたので、女子の教育が叫ばれるようになった。藩學四教堂跡に鶴谷女學校が開設された。これが明治七年八月十五日であつた。女教師二名（小林鉄子、山崎千代）、算術教師（吉田亮直）、裁縫教師（川北理太郎、宮崎サダ）を置いて、変則科に裁縫科を加えて教えた。また、翌八年十一月に、師範學校伝習所を卒えた訓導二名（児玉恕平、佐藤蔵太郎）をよんで教科を正則に改め、小宮道鈴の女子には正則科を授け、適齡以上の女生徒はその数が多かつたので変則科で教えていた。この鶴谷女學校は、九年十月にその校舎を佐伯小學校の一部に移転したが、十一年十一月に又小學校に併合された。そして女子には正科の外に裁縫科を加えられていたのである。

証録

七びれりくジヨウヤラ踊り

附・綱を添めることなど

故青

水

勝（遺稿）

（当時 別府市石垣原病院入院中）

并志 朝夕はめつきり冷え之と氣節と相成りました。

其の佐先生は且神壯健の事と速察致します。傳つて私儀も方は近所を散歩等致して居ます。他事乍ら御休心下さい。

先日、河野藤の御書面によれば、明治百年記念行事で御忙しい由、色々御多忙の事とせうが御禮を致します。尚古江行は百年行事終了の後になる模様とありましたが、私も其の時身作の調子が良く、益師の許可が出来ましたら帰りたいと思ひますが、其の日に成りませんとあかりません。

先日西日本新聞で、五丁の市のジヨウヤラ踊り（古江崎千等）では内櫓（ふり）が年々少むれる。櫓は撤去に付、昔の面影はないと云ふ記事を読みましたので、其の事と崎千の石田主科君（佐伯中學校、八幡丸の当主）と（同級生）に書いてもらひました。

「七の綱添とかジヨウヤラ踊りは昔語りになりつつあり、私もハツキリおぼえてはなないが、大方の記憶をたどりやらしるしました」と手紙と一しよに送つて下さいました。他の事も書いてありましたので私が書き直しました。

ジヨウヤラ踊り（内櫓ふり）は大船おろし（進水式）の後や、五丁の決り祭礼の時、海上を歩み来る踊りです。

音頭

ジヨウヤラジヤー ハー、アヨイサツ ア、エーレ

バドツコイ

アーラララララララサー ア、ヨイサツ

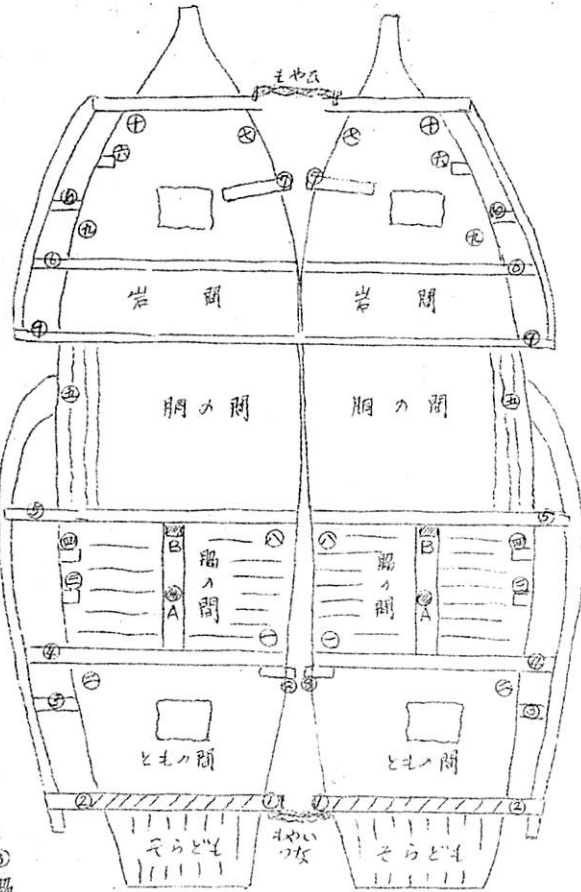
エーレバドツコイ

踊り



子供入する金時の腹カケをかせ、赤ハ禪として、並色の市メ鉢巻は舌前で止

サカアミ 左網
マアミ 右網



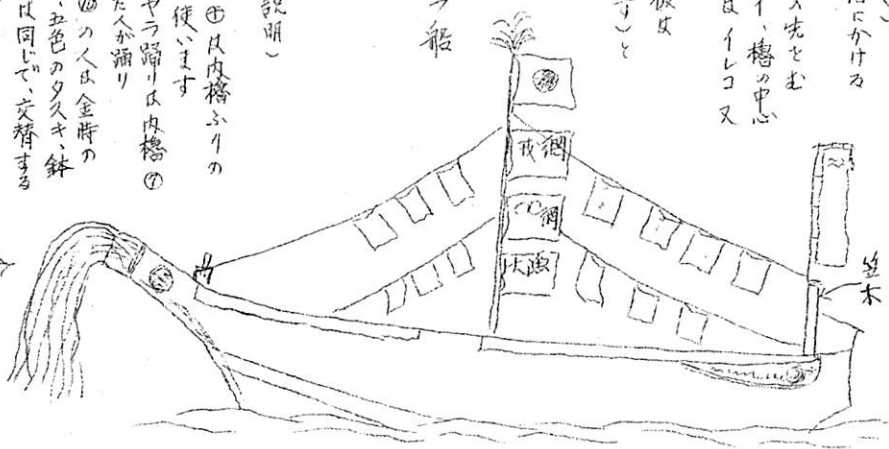
① アバ櫓、② 岩櫓、③ 外皮櫓で、左網はのアイナカ、④ トモ口で以下其同しです。尚、⑤は櫓ぐら(※につづく)

豪快な踊りです。右網と左網とも四人ずつで、内櫓の者がけ踊り、外側の三人は普通の櫓とおして居ます。又船には多数のフラホ(大漁旗)をかざり、船木には旗(五目の節句に立てるのびりの小さいもの)を立てる綱元もありました。



※(ニ)の頁終りよりつづく) ⑥はハヤオと云つて櫓にかけの綱です。大伴右の如くでサカアミ先をむすぶ小は左儀はコモツトイ、櫓の中心部でコグイに入る所はイレコ又はカコと云います。又船の間に敷いてある板はシイタ(方言と思ひます)と云います。

満船飾々
ジヨウヤラ船



(上図の説明)

- ① 及び②は内櫓ふりの時へ使います
- ③ ジョウヤラ踊り又は内櫓のを持つた人が踊り
- ④ ④の人は金時の腹掛け、五色のタスキ、鉢巻、禪は同じで、交替する様です。
- ⑤ 船の間の④はカクラサンを巻く宛、⑤は船棚様(フナダササ) (舟の神)

ナワで造り黒く添めてあります

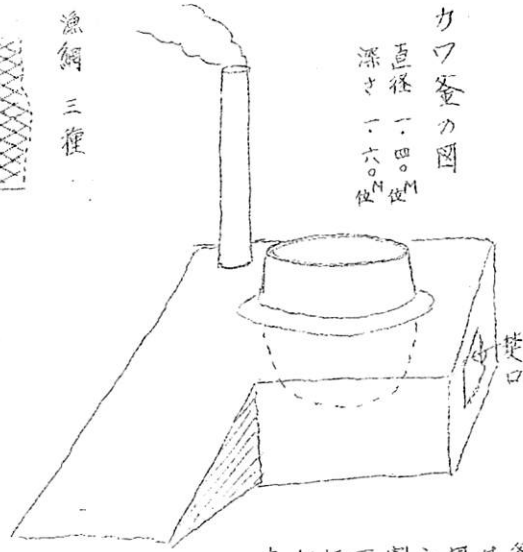
櫓の名は右網はの櫓、②外どし、③中櫓、④内櫓、

(※につづく)

次に、今はナイロン網と変わった為網染はなくなりまし
たが、また綿糸入網入時、夜焚網と漁休入（月夜）毎に
網をといで染め直さぬです。次の釜はカワ釜とも云ひ、
カワ釜とも云つて居ますが、わけは知りません。

カワ釜の図

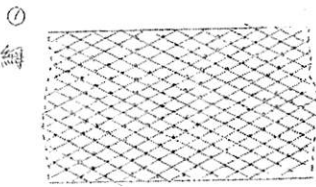
直径一・四。M
深さ一六。N。使



焚口

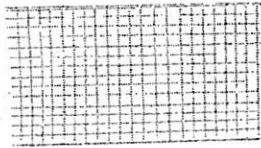
釜の中に入れる薬品
はカワチーと云ひ、
図形で多分ビールビ
ンヌをとして居る。
割つて使ふ。夜焚網
一回染めると二、三回
に使用す。
水及びカワチーは適
当に決まっています。

（この釜の図には
更に詳しい図説し
た説明が添えてある
が、都合により省い
た。）（編集者）



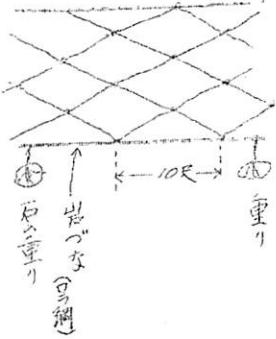
① 網
普通の網と
かえり又は三種あり
申は一尺余

漁網 三種



② モシ

樽の口



③ 大引（葉巻でつくったもの）

八月六日のNHK大分テレビド、別府駐屯の自衛隊員
が大分市松原山陸軍墓地（西南の役戦死者三二一名）墓
霊が眠っていますの清掃に当たっている場面が、写し出

研究

鏡「西南の役」と黒沢

多田光の著表（学芸文七号）を考察する

山本

（会員・佐伊市青山小学校教員）

網針

針筒に入れる網針は古江をさがす極電流しました。



糸のかけ方

針の先Bと押して中の針Aに糸をかけCをまわ
して裏からBと押してAにかけ、又Cにかけて表から
Aに分ける。

では今日口之にて穴孔致します。

時節飯御自愛の段祈祈り致します。

十月十三日

青木

（編集者宛）

（註）本稿は昨年十月号に前記合わせ、十一月では北下の市の
香野いよしく外れ、そこで手許に保留、その旨、青木氏に
伝え、今年九月に口之考えていたこと、今年一月、青木氏
急逝された。そこで、北下の市（大宮八幡の秋の大祭）近き、
今日号に載せる次第である。
（今年の上丁の市は九月廿五、廿六、廿七日の三日間の由）
（村松）